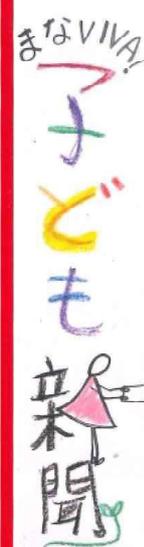


まなVIVA!



2025年 11月号

発行 ちいさなて

発行人 加藤奈津子

編集長 服部加奈子 (inote+P)

お問い合わせ 一般社団法人 ビックロム 072-976-4562

大工の仕事は、たくさんある

東大阪市にある吉武工務店を、子ども記者たちが取材をしました。子ども記者たちは、家づくりへのあつい想いや、住まいにひろがる工夫についてお話をききました。そして、疑問や気になることについてインタビューを行いました。

※子ども記者たちが知ったことや考えたことを、見出しや記事にまとめました。子ども記者たちの表現をできるだけそのまま文章にしています。

家には安全と笑顔が大切

えがお

家は、地震が来ても簡単にくずれないように工夫がされたり、家に住む人たちが安全で笑顔にくらせるように作られています。家は、人生最大の買い物なので、家を買う皆さんはともワクワクすると思います。家を作った人も、家を買った人がワクワクしてくれたり、笑顔を見たりすると、とても喜んで、作った甲斐があったと思うってくれるでしょう。なので家を



買うときは笑顔を見せると良いと私は思いました。(文・6年ねこ記者)

吉武工務店に取材にいきました。現場だからこそ感じられる、みなさんの思いの迫力を感じました。暑さや寒さにたえられ、環境にやさしい建物をつくられています。工事の手順は、基礎工事→棟上げ→大工工事→内観工事です。その中でも一番大切で重要なものは、基礎工事です。基礎工事でバラ



が台無しになってしまうからです。(中学1年ぬめちや記者)

コースター作りや、かんながげの体験をしました。体をいっぱい動かしたり、こしをふったり、力がいることを知りました。

家をつくるのは、土台からはじまり、がんじょうな柱をたてるなど、いろいろな工夫をしています。吉武工務店は心のやさしい、気持ちをもちな

かんながげにはコツがある

かんながげは、むずかしかった。つすくげるのは、むずかしかった。しよくんさんは、すごいなと思いました。木が、かたかったから、むずかしかった。(文・小学3年生K・N記者)



かんながげは、おもたかった。なぜなら、板がかたから。おとなは、力が強いから上手にできたけど、子どもはうまくできなかつた。なぜなら、力が弱いから。コースターづくりをさせ

理想の家の土台たち

オシャレな外観、キレイなキッチンに大きなクローゼット。そんな理想の家には、それらを作り、守るためにたくさんの土台があるんです。たとえば、地震から守る耐震設計。

これは、とても強くたおれない柱を計算された場所においているからたおれないのです。それと、外の暑い空気や寒い空気を家に入れないために、せんようの材料を使っています。最後に、家の下の土台。土台をしかり作るのが一番大切です。インタビューに行った会社の吉武社長は、人は家と同じように、何かをたてる前の土台が最も大切だと言ってくれました。やっぱり、色んなことにおいて「きそ」って大切ですよ。(文・6年もんひよ記者)

新築の家を見学させてもらいました。冷房や暖房は、窓から全部逃げてしまうけれど、断熱をすることで、少ないエネルギーで快適な室温にすることが出来ます。家は



お手入れも大事で、排水管などを交換できるように工夫されています。家を買に来るひとは幸せな暮らしを夢みながらやっていくものです。(文・子ども記者全員取材内容より)



【取材協力】

株式会社 吉武工務店



Yoshitake
— 心をこめた建築を贈ります —
(吉武工務店 代表取締役 吉田さんより)

リビングが、笑が絶えない場所となり、温かなオレンジ色の光で包まれる、そのような空間づくりをしていきたいという思いがあります。また、弊社の経営理念であり、心を入れた建築を贈りますという思いを、中心のI(アイ)のハードに込めています。

コミュニティスペース ちいさなて
こまった時、さみしい時、ちょっと話したい時。
ここは、そんな気持ちをそのまま持ってきていい場所です。
おしゃべりしてもいいし、ただボーッといても大丈夫。
「なんかあったら、ここにおいで。」
みんなでごはんを食べたり、遊んだりできるよ。

TEL:072-976-4562

住所：東大阪市中石切町4-12-26